

2023年3月2日

フィリピン共和国、マニラ首都圏地下鉄工事の起工式を開催 － マニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP103工区 －

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 近藤 重敏）は、フィリピン共和国におけるマニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP103工区の起工式を、2月13日（月）に開催しました。

フィリピン政府側からガルベス国防大臣、バウティスタ運輸大臣、日本側から二瓶 大輔 在フィリピン日本国大使館経済公使、坂本 威午 JICAフィリピン事務所長らが出席され、祝辞を頂戴するなど盛大に執り行われました。また、当社からは柴田 敏雄 代表取締役専務執行役員土木本部長、山地 斉 常務執行役員国際本部副本部長ほか工事関係者が出席しました。式典では、工事を起工する鍬入れや安全を祈願する鏡開きの他に、列席者によるタイムカプセルの投入が行われました。



【起工式で行われた鍬入れの様子】

【関連リリース】

[> フィリピン共和国、マニラ首都圏地下鉄工事の契約調印（2022年11月11日）](#)

■工事概要

工事名称：マニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP103工区

発注者：フィリピン共和国 運輸省

設計：オリエンタルコンサルタンツグローバルJV

施工：三井住友建設株式会社

契約金額：約657億円（日本円換算）

工事期間：着工から290週（約66.7カ月）

工事概要：工事延長約6.5kmの土木・建築、設備一式工事。

2つの駅舎工事（アノナス駅253m、キャンプアギナルド駅277m）を含み、4つの各駅舎間を結ぶ上下線シールドトンネル区間総延長11.97km、内径6.1m。

■今後の展開

当社はフィリピンの他、日本政府 ODA 支援としての橋梁・鉄道・道路・水道等の社会インフラ整備事業や、アジア各国で日系、欧米系及び地元企業事務所、工場等の建設事業等幅広く事業展開をしてきました。フィリピンにおいては、現在施工中の南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）CP2 工区（北方のブラカン州マロロス市から首都圏マニラ市ツツバンまでの区間延長 14km の高架橋と 3 つの駅舎を構築するプロジェクト）に続くプロジェクトとなります。

今後も日本特有の技術力、あるいは長年の事業展開による高いマネジメント能力を活かして、各国の社会インフラの整備ならびにアジア各国経済の発展に貢献してまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

経営企画本部 広報室

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目 1 番 6 号

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

Email:information@smcon.co.jp

以 上